

令和6年度 江戸川区立小岩小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	生きる力を養う ○考える子（確かな学力） ○思いやりのある子（豊かな心） ○元気な子（健やかな体）	目指す学校像 ○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 目指す生徒像 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 目指す教師像 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの本校の現状	成果 開校140周年・新校舎落成記念の取組による地域・保護者連携の深化、学習指導要領に基づく学習指導の重点化と研究推進並びに教育課題実践推進校の発表、いじめ・不登校に対する組織的対応の充実、組織的学校の運営と働き方改革に基づく取組の充実	課題 学習指導要領に基づく思考力等の育成の具現化、あいさつや基本的な生活習慣の定着のための学校・家庭・地域の連携、教職員の自律的組織的学校の運営の定着と、働き方改革の一層の推進、コロナ禍の教育活動と学校運営の推進

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学びの充実。 放課後補習教室の取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 全学級1日1回以上活用 放課後補習教室への登録率80% 	B		B	ICTを活用した授業を毎日実施。放課後補習教室の登録率が課題であったが、後期は定員に達する登録率となった。	B	教員は積極的に活用している。タブレットの活用法や使用マナーについても指導を充実させてほしい。					
	○授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> 思考力表現力判断力等を養う問題解決的な学習「小岩小授業モデル」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員の授業公開学期に1回以上 	B		B	問題解決的な学習の質的向上を目指し、発問の精選や自発的に取り組める活動の設定を意識し、授業改善を進める。	B	児童同士が話し合いながら学習する様子が見られた。継続してこのような学習を実践してほしい。					
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習と運動した人や社会、自然に関する探究的な学習活動の全学級実施 	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な学習活動の実施、全学級学期に1回 	B		B	校内図書館や、小岩図書館と連携しながら探究的な学習活動の充実を図る。	A	学習発表会の児童の発表内容が素晴らしい。よく調べて上手にまとめている、学年の段階にあった内容であった。					
体力の向上	○運動意欲の向上に向けた取組の実施、充実	<ul style="list-style-type: none"> 小岩ムーブ（準備運動版と整理運動版）の全校実施 小岩ムーブ（運動遊び版）の全校実施 	<ul style="list-style-type: none"> 体育学習で毎時実施 休み時間活用推進年30回 	B		B	各学級で体育学習時に毎時実施。休み時間の活用に向けて企画をして推進していく。	A	継続することが大切だと思うので、引き続き実践してほしい。					
	○個に応じた目標設定による運動意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川っ子なわ跳びチャレンジウィーク・KOIWA短縄チャレンジの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 取組集中期間各学期1回設定 体育学習における継続的な指導 	B		B	取組集中期間に児童の短縄への意欲の向上が見られた。技能向上に向け、学習カード等の工夫を行う。	A	児童の意欲がさらに向上するよう取り組みを期待している。					
	○健康指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> 歯科保健教育「歯ッピープロジェクト」及び食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 給食後の歯磨き毎日実施 フッ化物洗口、毎週1回実施 	A		A	昨年度からの継続実施の成果が表れ、歯科検診において虫歯のある児童が減少した。	A	今後も継続して校内で実施しつつ、家庭への啓発も行ってさらなる成果へつなげてほしい。					
教育の推進 実現に向けた 共生社会の 推進	○特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教室拠点校、弱視学級、日本語学級配置校として連携した教育 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の情報共有会議、週1回以上 特別支援に関する校内研修年2回 	A		A	毎週木曜に生活指導夕会を実施。特別支援に関する研修も2回実施し、教職員間での連携につなげている。	A	教職員間で情報共有していて、連携した指導が行われることは安心である。					
	○国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自国文化や他国文化の理解を深める教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 理解教育を行い、交流や発表の場を年1回以上設定 	B		B	日本語学級（ふじ学級）と4年生が交流した。他国の文化を理解する機会となった。	B	外国籍の児童も増えてきているので今後も充実させてほしい。					
	○SDGs委員会を中心とした環境保護整備	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会にSDGsの取組実施・発表 	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会ごとに実施し、成果や取組を発表する機会の設定年1回以上 	B		B	9月に開催した学習発表会では全学年SDGsをテーマに学習したことを発表した。	A	SDGsをテーマにした発表会では児童がよく考えて学びを深めていた。					
不登校・いじめ対応の充実	○いじめ・不登校対策の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会、個別対応会議、学校相談、迅速な指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 事案発生時速やかに適宜開催 	A		A	事案が発生した場合、対策委員の教職員を参集して会議を実施。組織的に対応を協議し、迅速に指導につなげている。	A	今後も継続してほしい。必要に応じて関係機関との連携も大切だと思う。					
	○hyper-QUの活用	<ul style="list-style-type: none"> hyper-QUの結果を基にした学級経営 	<ul style="list-style-type: none"> 居心地のよい学級とする児童90% 	B		B	結果を個人面談にて保護者にも通知。個人への指導や学級経営に生かすよう活用している。	A	児童が安心して楽しく生活できる学級を目指してほしい。					
	○小岩小学校スタンダードの全校実施 質的向上	<ul style="list-style-type: none"> 靴揃え 右側歩行 時間行動 あいさつ 環境保護整備の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートによる定着率90% 	B		B	学級指導を中心に児童への定着を図っている。継続指導によりどの児童もできるよう進めている。	A	あいさつをよくする児童が多く、気持ちの良いあいさつができています。					
学校（園）開かれた地域社会の実現	○学校・家庭・PTA・学校応援団・民生委員等と連携した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPの定期的更新や学校公開等を通じた地域への情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> HP月2回以上の更新 各学期学校公開による全学級授業公開 	B		B	HPの更新を確実に実施するように校内体制を見直した。学校公開では多様な教科の指導が公開できるように調整した。	A	学校公開では、先生たちが工夫した授業を展開していた。					
	○コミュニティスクールモデル校の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を開催し、学校と地域が連携した教育を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の開催による評議員評価、肯定的意見80% 	B		B	10月開催の学校評議員会においてCSマイスターを招いて理解を促進する話し合いを実施した。	B	コミュニティスクールについての理解が深まるよい機会となった。					
	○安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 多様な避難訓練、警察等と連携した安全に関する教育、食物アレルギーに係る迅速かつ的確な対応 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート肯定的意見90% 	B		B	小岩警察と連携したセーフティ教室の実施。エビベン所持児童を対象としたアレルギー対応訓練を実施している。	A	今後も安心安全のために必要な訓練等は継続してほしい。					
教育の展開 特色ある	○児童自ら進んであいさつができるようになる心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校、PTA、地域、近隣校の運動によるあいさつの指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、児童、評議員評価90% 	B		B	校内のあいさつ運動と近隣3校によるあいさつ標語コンクールにより指導の充実を図った。	A	あいさつ標語は立派な作品が多かった。あいさつを促進する取組を継続してほしい。					
	○ブルーラビットバンドの活動	<ul style="list-style-type: none"> 4年生以上の希望者によるバンド活動を通じた音楽活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、児童アンケート、教職員評価90% 	A		A	バンド活動参加児童が増え、4年以上の児童が協力して活動している。区民まつり、三校一園音楽会にて演奏した。	A	様々な行事で活躍していることが素晴らしい。伝統あるバンドなのでこれからも期待している。					
	○竹馬活動	<ul style="list-style-type: none"> 竹馬を通じた異学年交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 児童、教職員アンケート90% 	B		B	3学期の実施に向け、異学年交流が活発になるように実施案を作成中。	A	学校特有の行事を大切にしながら、上級生と下級生とのかわりを大切にしてほしい。					